

ピラーページとは？設置するメリットや作り方の例を解説

トピッククラスターは、複数の記事を掲載しているサイトにおすすめのSEO対策です。施策の中心コンテンツをピラーページといい、近年の検索クエリの複雑化を踏まえるとSEOの観点でも効果的な戦略だといわれます。

しかし、トピッククラスターやピラーページがどのようなものかよくわからない方も多いのではないでしょうか。

本記事では、ピラーページの特徴やSEO観点でのメリットを解説します。ピラーページを作成してWeb上の集客活動に役立てたい方は、ぜひ参考にしてみてください。

トピッククラスターとは

トピッククラスターとは、サイト内の複数記事をトピック(テーマ)別に分類し、関連する記事同士を内部リンクで繋いで記事全体のSEO評価を高めることを目的とした施策です。トピック別に記事をまとめるとサイトを見やすく整えることもでき、ユーザビリティも高まります。

トピッククラスターは、トピックの中心コンテンツであるピラーページ(ピラーコンテンツ)と、より細かいニーズに対応するクラスターページ(クラスターコンテンツ)の2種類で構成されます。

ピラーページ(ピラーコンテンツ)とは

ピラーページ(ピラーコンテンツ)とは、柱という意味でトピッククラスターの中心的なコンテンツです。トピックに関して網羅的に説明する記事で、まとめページとも呼ばれます。

ピラーページの対策キーワードは、検索ボリュームが多い1語のビッグキーワードであることが多いです。例えば「SEO」が対策キーワードの場合、ユーザーの検索意図は「SEOって何?」「SEOの仕組みとは?」「SEO対策にはどんな種類がある?」など、色々考えられます。ピラーページは、そのような疑問を幅広く解決できるコンテンツであることが求められます。

クラスターページ(クラスターコンテンツ)とは

クラスターページ(クラスターコンテンツ)とは、ピラーページの内容の一部をより詳しく説明するコンテンツです。ピラーページに内部リンクを設置し、ピラーページの対策キーワードよりも具体的な会話型クエリやロングテールキーワードを狙うことで、ユーザーが知りたい情報をより広く深く提供できます。

例えば、ピラーページの対策キーワードが「SEO」の場合、クラスターページは「SEO ライティング」「SEO タイトル」「SEO 内部対策」などのキーワードが考えられます。

SEO対策におけるピラーページのメリット3選

ピラーページを設置するメリットをSEOの観点から3点解説します。

- ユーザーとクローラーの滞在時間が長くなる
- ビッグキーワードで上位表示を目指せる
- 知りたい情報を網羅したサイトになる

ひとつずつ詳しく見ていきましょう。

ユーザーとクローラーの滞在時間が長くなる

ピラーページには、より詳しく知りたい人向けの関連コンテンツが集中しているため、内部リンクをたどって複数ページにアクセスされる可能性が高まります。ユーザーの滞在時間が長くなるだけでなく、Googleのクローラーもリンクをたどることでサイトの構造を把握しやすくなります。

クローラーとは、あらゆるWebサイトを回遊して文章や画像の情報を収集するロボットです。集めた情報をもとに検索エンジンがサイトの品質を判断することで、SEO評価が上下します。1つの記事が評価されれば、相互リンクされた他の記事の評価も上がり、記事全体が評価されやすくなるのです。

ビッグキーワードで上位表示を目指せる

通常、ロングテールキーワードで対策した記事が上位表示できたとしても、ビッグキーワードで上位が狙えるとは限りません。しかし、トピッククラスター戦略をもとにサイトを設計することで、上位表示できたクラスターページから内部リンクされているピラーページのSEO評価が上がります。すると、ビッグキーワードでピラーページが上位表示される可能性も高くなるのです。

ビッグキーワードで上位表示ができると、ユーザーから有益な記事と判断され被リンクの獲得も増えるでしょう。被リンクの数もSEOの観点で評価されるため、上位表示の維持に効果的です。

知りたい情報を網羅したサイトになる

ピラーページは、ユーザーが知りたい情報の幅広い入口になります。1つのサイトで網羅的に情報提供ができるため、ピラーページを読んでさらに詳しく知りたいと思ったユーザーが、再検索のためブラウザバックするのを防ぐことができます。

近年、検索クエリは長文かつ複雑化している傾向があります。これは音声検索が可能なデバイスの登場やWebコンテンツの多様化が影響を及ぼしており、不要な情報を排除して自分の知りたい情報だけを早く検索結果に表示したいニーズが強いためです。トピッククラスター戦略で設

計されたサイトには欲しい情報と関連性の高いコンテンツが集まっているため、最近の検索事情にも沿った戦略といえます。

トピッククラスターの作り方

トピッククラスター戦略に沿ったコンテンツの作成手順を解説します。

1. 既存の記事を分類する
2. ピラーページのキーワードを決める
3. ピラーページを執筆する
4. クラスターページを執筆する

順番に見ていきましょう。

1.既存の記事を分類する

サイトに十分な記事数がなければトピッククラスターは作れません。すでにある場合は、トピック別に記事を分類しましょう。例えば、Web集客に関する情報サイトであれば「SEO」「マーケティング」「広告」といったトピックが挙げられます。

2.ピラーページのキーワードを決める

各トピックの中心記事となるピラーページの対策キーワードを決めましょう。キーワード選定にはラッコキーワードなどのツールを使用し、検索ボリュームも調査しておくのがおすすめです。

3.ピラーページを執筆する

キーワードを決めたら、ユーザーの検索ニーズを満たせる内容を意識して執筆しましょう。

ユーザーは自分に必要な情報だけを拾い上げるため、ほとんどの文章は読まれません。この点を意識した上でユーザーを惹きつけるには、タイトルや見出しにキーワードはもちろん、目を引く語句を入れるなど工夫が必要です。

また、競合と同じような記事を書いても独自性が出ないため、自分の体験談や独自情報を入れるとオリジナリティの高い記事ができます。

4.クラスターページを執筆する

クラスターページは、ピラーページよりもニーズを細分化した記事にする必要があります。対策キーワードは2語もしくは3語以上のミドルキーワードやロングテールキーワードが主流です。

ピラーページ同様ユーザビリティに気を付けながら執筆し、作成したらピラーページにリンクを貼りましょう。ユーザーが「この部分をもっと知りたい」と思うタイミングを考慮して設置箇所を決めます。

ピラーページ作成の注意点

ここでは、ピラーページを作る際に気を付けたいポイントを2点解説します。知らずに作成すると期待したSEO効果を得られないこともありますので、注意が必要です。

- 適切な文字数で執筆する
- 定期的に関リライツする

それぞれ見ていきましょう。

適切な文字数で執筆する

ピラーページには要所ごとに関連コンテンツのリンクを置きますが、その結果内部リンクだけを集めた目次ページにならないよう注意しましょう。

記事として最低限のニーズを満たすためには最低2000文字は必要とされています。ピラーページはキーワードに対して網羅性を高めなければいけません。かといって長くなりすぎるとユーザーの離脱を招く恐れがあります。各見出しの深掘りした説明はクラスターページで行い、あまり詳しく書きすぎないように注意しましょう。

定期的に関リライツする

一度上位表示ができて、記事の内容は定期的に見直す必要があります。特に検索ボリュームが多いビッグキーワードは、上位表示すること自体が簡単ではありません。

上位表示している競合の記事と比べながら、検索ニーズを満たす内容となっているか、トレンドを盛り込んでいるかという点を意識して定期的に関リライツしましょう。

クラスターページを新たに作成した場合も、ピラーページに内部リンクを貼る、内容を修正するなどの作業が必要です。

キーワード選定のおすすめツール

トピッククラスターを作成するにあたって、対策キーワードをどのように選べばよいかわからない方もいるでしょう。最後に、トピッククラスターのキーワード選定に役立つツールを紹介します。

- ラッコキーワード
- キーワードプランナー
- Keyword Tool

ひとつずつ解説します。

ラッコキーワード

ラッコキーワードは、サジェストキーワードや上位記事を確認できるツールです。対策したいキーワードを入力すると、クラスターページに利用できそうな関連するキーワードが表示できます。

上位記事1つひとつにブラウザ上でアクセスしなくても上位20記事の見出しが一覧で表示されるため、競合記事の調査にも役立ちます。

キーワードプランナー

キーワードプランナーは、無料でキーワード選定や検索ボリュームの確認ができるGoogleのツールです。関連キーワードを入力すると新たなキーワード候補が抽出され、各キーワードの月間検索ボリューム、競合の強さ、広告単価などが確認できます。

検索ボリュームが「1000～1万」など曖昧な数値で表示されるのがデメリットですが、無料で幅広い項目別に調査ができるため重宝するでしょう。

Keyword Tool

Keyword Toolは、あらゆる検索エンジンの検索ボリュームが調査できるツールです。無料版は表示される関連キーワード数に制限がありますが、検索ボリュームをキーワードプランナーより詳細な数値で確認できます。

Googleだけでなく、Bing、YouTube、Twitterなどさまざまなプラットフォーム別に調査できるため、幅広い切り口でキーワードを調べたい方におすすめです。

まとめ：トピッククラスター戦略を活用しSEOに強いサイトを作ろう

本記事では、ピラーページの特徴やSEO観点でのメリットについて解説しました。

膨大で多様なコンテンツが溢れる現在、ピラーページを柱とするトピッククラスターは、ユーザーが知りたい情報の幅広い窓口となりえる効果的な戦略です。

クラスターページが上位表示できれば、リンクでつながったピラーページのSEO評価も高まって閲覧の機会が増えます。そのため、トピッククラスター戦略はユーザーとコンテンツ制作側の双方にとってメリットがあるといえます。

トピッククラスター戦略にもとづいたコンテンツを作成して、ぜひWeb上の集客活動に役立ててみてください。